

回復期リハビリテーション病棟入院料 1 及び 2

の施設基準に関する掲示

1. 回復期病棟退棟患者数（令和 8 年 4 月～令和 8 年 6 月） 72 名
2. 1. における患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分内訳
 - （1） 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎等の発症若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態

28 名
 - （2） 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は 2 支肢以上の多発骨折の発症又は手術後の状態

40 名
 - （3） 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態

3 名
 - （4） 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態

0 名
 - （5） 股関節又は膝関節の置換術後の状態

1 名
3. 令和 8 年 7 月報告の実績指数 50.9

※実績指数とは

患者様の運動機能の回復状態と在院日数の長さから算出されるもので、リハビリテーションの効果を示す指標となります。厚生労働省では基準として 42 以上は高いと示しています。

令和 8 年 7 月 1 日